

哺乳瓶等に使用されるプラスチック原料（ビスフェノールA）に関する報道につきまして

お客様各位

2008年7月10日

コンビ株式会社

平成20年7月8日、厚生労働省より「ビスフェノールAについて、食品安全委員会へ健康影響評価を依頼した」との発表があり、翌日には、マスコミ報道もなされました。

ビスフェノールAは、プラスチックのポリカーボネートやエポキシ樹脂等の原料で、一部食品用の容器に使用されています。食品衛生法では、飲食物に移行したビスフェノールAの健康への悪影響を防止するために、ポリカーボネート製容器等には溶出試験規格が設定されています。

弊社では、哺乳瓶を含め、乳幼児が直接口に入れることを想定した製品、及び直接口に入れる可能性の高い製品について、2001年7月販売分以降よりポリカーボネートは一切使用していませんので、安心してお使いいただけるものと存じます。

弊社は今後も、各国の科学的研究・規格基準の動向を注視し、より安全で環境に配慮した製品開発に努めてまいりますので、弊社製品を引き続きご愛顧いただきますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

以上